

2023年9月6日

## 日本歯科麻酔学会雑誌の査読プロセスの改定について

平素より本会の活動にご尽力頂き誠にありがとうございます。

日本歯科麻酔学会雑誌の査読プロセスでは、投稿論文を「採択」、「再査読」、「再投稿（次号送り）」、「返却」の4段階で判定しています。しかし、「再査読」の場合、次号での掲載を前提としているため、著者による原稿の修正に時間的余裕がないこと、また「再投稿（次号送り）」の場合、著者が修正を速やかに終わらせて再度投稿しても、次回の定期雑誌編集委員会後まで回答を待たなければならないなどの問題がありました。

これらの問題を解決するため、論文等の審査を以下のプロセスで実施します（2023年7月の雑誌編集委員会審議分より適用を開始しています）。

- 「Accept as is」、「Minor revision」、「Major Revision」、「Reject」の4段階で判定する。
- Minor/Major revision の場合、著者による原稿修正が適切になされた段階で Accept とする。  
また、原稿の修正が不十分で掲載が困難であると判断された場合は、その時点で Reject とする。

これに伴い、これまで各種資格の申請・更新要件であった日本歯科麻酔学会雑誌の論文発表実績を、Anesthesia Progress 誌の取り扱いと同様に、「日本歯科麻酔学会雑誌・Anesthesia Progress については、アクセプトされ、掲載予定の論文についても業績として認める。ただし、in press の場合は、必ず掲載を証明する書類（掲載証明書もしくは、それと同等の文書）および当該論文データを印刷したものを添付する。」に変更いたします。

一般社団法人 日本歯科麻酔学会  
雑誌編集委員会委員長 水田健太郎  
副委員長 飯島 毅彦